

NITTOSEIKO

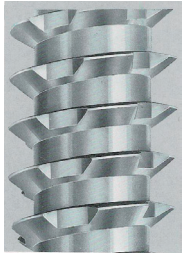
日東精工 ニュースレター

京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地 / 日東精工株式会社経営企画室発行

今年もゆるみ止めねじ「ギザタイト」で 受験生の集中力維持をサポートします!

当社の樹脂用ゆるみ止めねじ「ギザタイト」を特別加工して、ゆるまない＝集中力が持続して
実力が発揮できるシンボルとして、受験生にプレゼントするキャンペーン。
今年もご期待にお応えして応募受付を開始しました!

プラスチックなどの樹脂を金属ねじで締結すると、振動や温度変化などが原因でゆるみが出てきやすいのですが、ねじ部に特殊な溝をいくつもつくることで、ゆるみにくくしたねじ、それが、当社ファスナー事業部が製造・販売する「ギザタイト」です。



円周4等分の角形溝に、樹脂が食い込むことで戻り止め効果を発揮

本来はIT関連や家電、自動車分野の部品としての役目を果たしているのですが、ゆるみにくいという特性を活かして、受験生の応援グッズとして、2014年度から一般の方へプレゼントしています。「ねじを巻く」という慣用句がありますが、「ギザタイト」を特別加工して、〈気を引き締め、タガを外さないように。そして集中力が持続してそれまでの努力が実を結ぶように〉という願いを込めてはじめたキャンペーンで、昨年2021年度は1360件、6570名、これまで8年間では延べ4万2203

ゆるみ止めねじ「ギザタイト」を 受験生応援用に特別加工

頭部は合格（ごうかく）につながる五角形とし「祈成就」を刻印。重く受け止め過ぎずリラックスして本番に臨めるように素材は軽いアルミニウムとし、未来に向かって輝くイメージでゴールドに加工している



専用の袋と台紙も用意。台紙にはメッセージが記入できるほか裏面にはQRコードがついていておみくじも楽しめるようになっている



人にプレゼントしてきました。

長く続けているキャンペーンですので「兄弟でお世話になりました。今度は一番下の妹の番です」であるとか「高校受験のときに志望校に合格できました。今度は大学受験です」といったような複数応募の方もいますし、単身赴任している方が「離れていて何もできないので、せめてがんばっている息子のためにプレゼントしたい」と海外から応募されたり、おじいちゃんおばあちゃんから「可愛い孫を応援したいのでよろしく願います」という応募があつたりします。個人応募だけでなく、クラス単位、学校単位で毎年ご応募いただくところも増え、また当社社員のなかにも、学生時代にこの受験生応援ねじが励みになったというものもあり、樹脂用ゆるみ止めねじ「ギザタイト」が本来の用途を超えて、たくさんの方のお役に立っていることをとてもうれしく誇りに思います。

そして、毎年、たくさんの方のメディアにも取り上げていただき、日東精工のブランド価値向上にもつながっています。ほんとうにありがたいことと感謝しています。

全国各地に「受験生応援ねじ」をお届け！

クラス単位、学校単位でのご応募では、当社本社や事業所に近い学校には当社社員が出向いてお届けしていますが、郵送させていただいたところからは、画像付きで丁寧な報告が届きます。以下、ここでは昨年度のを抜粋して紹介いたします。

●香川県A中学校

「3学期始業式後に『3年生激励会』を催し、1、2年生から3年生に贈呈。その後、3年生は教室で開封し、ねじを御守の中に入れ、鞆やリュックにつけたり、筆箱の中に入れたり大切にしているようです。3年生にとっては後輩からもらった御守ということで、心の支えになりました」



●千葉県N中学校

「生徒に配布したところ、生徒だけでなくおうちの方にも『本当に良かったね』と喜んでもらえました。コロナの影響で主だった行事もなく、大変な中学校生活を送ってきた3年生ですが、貴社にいただいた御守できっと合格できると思います。ありがとうございました」



●北海道E中学校

「入試まで残り100日をきり、多くの人が遅くまで勉強したり、不安に押しつぶされそうになっていたり、あせりを感じていたり。そんな体力的にも精神的にも心が折れそうな日々の中でのプレゼントでした。このお守りをもらったときには本当に本当に嬉しくて最後まで気を“ゆるめないで”頑張ろうという気持ちになりました」



「私たちにとって本当にとても大きな支えとなっています。どんなに苦しいときでも気を引き締めて受験勉強頑張ります」

●福島県H中学校



●東京都K高等学校



さて、今年度も例年通りキャンペーンを開始し、12月1日に第1回の応募を受け付けました。今後は残り2回、1月6日と2月1日の受付を予定しています。身近なところに受験生がおられる方はぜひ、お知らせください。



キャンペーンのより詳しい内容や応募はこちらから

ニュースレターで振り返る2022年

11月号	10月号	9月号	8月号	7月号	6月号	5月号	4月号	3月号	2月号	1月号	
<ul style="list-style-type: none"> ●「ものづくりフェア2022」出展で3事業連携をアピール ●安川電機人協働ロボット用ねじ締めユニット「PD40YE」シリーズを新発売 	<ul style="list-style-type: none"> ●展示会目白押し。 ●国内外で日東精工グループの技術力、潜在力を訴求 ●「電子デバイス実装研究会」で「AKROS」をアピール ●マイクロバブルシャワーシステム「BUBUSS」新発売 	<ul style="list-style-type: none"> ●「垂直多関節型ねじ締めロボット」を安川電機と共同開発！ ●あやべ・日東精工スタジアムで野球教室を開催 ●あやべ水無月まつりに協賛 	<ul style="list-style-type: none"> ●第12回モデルフォレスト活動 ●「日東精工テクニカルレポート」82号を発行 ●大学オープンキャンパスで受験生応援ゆるみ止めねじをプレゼント 	<ul style="list-style-type: none"> ●マレーシアの現地法人が省エネ対策の優秀企業に選定される ●ねじを通して「SDGs」を考えるプレゼントキャンペーン 	<ul style="list-style-type: none"> ●「統合レポート2022」発行 ●Collaborate UPオンライン展示会に「PD40UR」を出展 ●サステナビリティの視点を強化した 	<ul style="list-style-type: none"> ●「女性活躍推進」が評価され「なでしこ銘柄」に初選定 ●「HANNOVER MESSE 2022」出展で欧州市場へ 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健康経営銘柄2022」「健康経営優良法人2022（ホワイト500）」に2年連続で選定 ●ケイエム精工（株）および（株）ビニングを子会社化 ●「2022年国際ロボット展（株）安川電機、UR社ブースで出展 	<ul style="list-style-type: none"> ●（株）トランスジェニックと業務提携でメディカル事業開発を加速 ●「健康経営銘柄2022」「健康経営優良法人2022（ホワイト500）」に2年連続で選定 ●4月4日より東京証券取引所プライム市場へ ●「スポーツエネルギーカンパニー2022」に認定 	<ul style="list-style-type: none"> ●異種金属接合「AKROE」について講習会を開催 ●「あやべ球場」の愛称が「あやべ・日東精工スタジアム」へ ●水専用流量計「小型アクアメータWE」を新発売 	<ul style="list-style-type: none"> ●「優良勤労者」を受賞 ●京都府障害者雇用優良事業所等知事表彰 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和3年度近畿地方発明表彰「京都発明協会会長賞」を受賞 ●「優良勤労者」を受賞

2022年1月号から11月号で取り上げたTOPICSから抜粋

次代を担う子供たちに ねじの大切さを訴求しました

10月15日から12月4日まで「ネジの ツナガるーモノ×ネジ×ヒトー」が千葉県立現代産業科学館で開催され当社も協賛、10月23日には展示会内イベントである「紙ねんどで作ろう！自分だけのねじ」をサポートしました。同館職員から参加児童に日東精工の概要やねじの役割（モノとモノをつなげる・くっつける・ゆるめる・

外すこともできること）を説明いただくとともに、紙粘土を線材に樹脂製の型を金型に見立ててねじ製造を再現し、ヘッダー・ローリング・熱処理工程を子供たちに学んでもらいました。



当社従業員がパラグライダーで 世界ナンバーワンを目指します

当社従業員である岩崎拓夫がパラグライダーで、日本ランキング1位を獲得したり、アジア大会で金メダルに輝いたりしたことはこれまでご紹介してきました。先般、パラグライディング世界最高峰の大会である「Paragliding World Cup」のシリーズ最終戦が韓国で開催され、岩崎はクロスカントリー種目にて111人中6位入賞を果たしました。また、この結果、岩崎は本年末に開催される「スーパーファイナル」の出場権を見事獲得いたしました。

この「スーパーファイナル」でのさらなる活躍を期待し、世界ナンバーワンになることを祈願します。



従業員が地域の学校で、講師や ファシリテーターとして活躍

当社の社員が講師やファシリテーターとして地域の学校に貢献している事例を2例ご紹介します。11月2日には福知山市の大江高等学校にてビジネスゲーム「THE商社」を使って、当社人事課の従業員ふたりがファシリテーターとなって高校生の授業を担当しました。また11月8日には日東精工SWIMMYの従業員が与謝野町の三河内小学校で、障がい者理解教育の講師となりました。

日東精工SWIMMYは当社の特例子会社で障がい者雇用を推進する会社ですが、障がいをもつ同社社員が、障がいや共生社会について子供たちが学び理解を深めるお手伝いをさせていただきます。



上は大江高等学校、
下が三河内小学校

医療用の溶けるねじ 研究開発を着々と進めています

当社では昨年2月に「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料」の開発に成功し、世界初の技術として記者発表しました（京都府の支援のもと、京都府立医科大学・富山大学等と共同で研究開発）。これまでの医療用ねじは骨折箇所などを固定したのち回復後は再度取り出す手術が必要ですが、開発中の素材は体内でゆるやかな溶解・吸収が特長で、摘出手術が不要。患者の負担が大きく軽減できる医療用インプラント素材として期待されるものです。医療用途は高い安全性が求められ、そのための知見を現在積み重ねていますが、2022年10月13日～14日に開催された第37回 日本整形外科学会基礎学術集会で、共同研究者の京都府立医科大学 岡佳伸先生より「溶解速度調整可能なマグネシウムインプラントの開発」と題して発表されました。今後も引き続き、製品化に向けて尽力してまいります。



学びのため、喜びのために仕掛けを用意

ピ アニストの仲道郁代さんが「演奏を聴くときに自分を戒めていることがある。それは答え合わせをするように聴かないということだ」と書かれていました。

シヨパンの演奏はこう、モーツァルトはこうだと正解を探すように聴いてしまうと、聴くおもしろさを潰してしまうというのです。

そのうえで、最近、自分が最近注目している若いピアニストのコンサートで、「隅々まで磨きあげられた非のうちどころがない演奏に胃が痛くなった」とも記され、締め言葉として「(あまたの音楽コンクールがあるけれど)本来音楽は競えるものではない。答え合わせから自由になってほしい」と記されていました(2022年10月15日 日本経済新聞夕刊)。

また、スピードスケートの金メダリスト、小平奈緒さんは先日引退後の記者会見で「目標に順位や記録はあつた

が、それは手段。目的である唯一無二の自己表現はまっとうできた」と競技人生を振り返り、今後は次代の人、子どもたちにスケートの楽しさを伝え、〈知るを愉しむ〉を追求していきたいと語っておられました。そして世界一のプリンターへと導いた結城コイチには「たくさんの学びの仕掛けで、ほんとうにスケートがおもしろいと感じられる日々だった」と感謝の言葉を捧げています。

いまはスポーツ分野だけにかぎらず、ありとあらゆる分野で研究開発、技術革新が進み、求められるもののハードルがどんどん高くなっていきます。より正確に、緻密に寸分たがわず実践することがよい結果に結びつくということも確かに多く、たとえば「安全」という観点でいえば、より徹底的にということは求められるべきでしょう。しかし、その一方で、喜び

や楽しみ、あるいは遊びがなければ、息が止まってしまいます。そのバランスが大事です。喜びや楽しみはパフォーマンス向上の源泉。ITやAIはあくまで人が使う手段であり、それを人の評価に使っていくのには危険性もはらんでいることを忘れないようにしたいものですね。

テレビのバラエティなどで、カラオケで音程がしっかりとれているか、いかに正確に歌えているかをA-評価させ点数で競う番組があるそうです。これはお遊びとしては楽しいかもしれませんが、〈人財教育〉という場においては〈なぞる〉〈再現する〉〈覚える〉を大切にしながらも、同時にそこに喜びや楽しさも見いだせる、工夫・仕掛けも忘れられないようにしたいものですね。できる、できない。完璧にこなせる・こなせないだけの一つのモノサシだけでは、創造の翼を広げることはできません。

綾部商工会議所の 会頭に 選任されました

2022年11月1日に

開催された「綾部商工会議所 臨時議員総会」において、当社代表取締役社長 材木正己が同会議所の会頭に選任されましたのでご報告いたします。まさに今回のコラムのように、当社が本社をおく綾部のために、次世代育成のためにたくさんの工夫・仕掛けを用意していければと願っています。「厳しい環境下ではあります。多様な人材の活躍と成長する経済の実現によって、地方創生の活性化を目指して、会員企業の皆様とともに挑戦してまいります」(材木正己 綾部商工会議所会頭就任の挨拶。就任日は2022年11月1日)。

